

「命のビザ」杉原千畝記念館と バルト3国を訪ねる旅8日間

旅行日程：2019年9月4日(水)～9月11日(水) 8日間

旅行代金：318,000円 ツインルーム利用1名様あたりの代金

シングル部屋利用追加料金 39,000円

*別途、燃油サーチャージ、空港諸税などが必要です(裏面、参照)

最少催行人数 15名様(添乗員が関西空港より同行いたします)

お申込締切日：2019年7月3日(水)



ヴィリニウス市内「スギハラ桜公園」
入口の顕彰記念碑

この数年、新しい旅行先として注目されつつある北欧のバルト3国。中でもリトアニアのカウナスにある杉原千畝記念館(通称:Sugihara House)は日本人観光客が訪れる定番のポイントです。

第2次世界大戦中、カウナスの日本領事館で領事代理を務めた杉原千畝は、ナチス・ドイツの迫害から逃れてきたユダヤ人難民を救うために、本国外務省の訓令に反して日本通過ビザを発給し、6000名以上の命を救いました。「日本のシンドラー」と称賛される杉原千畝を通じてリトアニアやバルト諸国では日本への好意や関心が高まり、バルト3国で有名な日本人といえば必ず名前の挙がる存在となっています。

アメリカをはじめ欧州でも個人の自由な移動への不寛容さが増している現在、杉原千畝の業績に目を向け、その思いを感じることができるツアーになればと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



記念館の展示
『命のビザ』(コピー)

カウナス・杉原記念館(Sugihara House)を訪ねます

杉原千畝の人的功績を称え、その精神を次代に伝える資料館として、2000年に実際にビザが発給された在カウナス日本領事館の建物の中に記念館が設置されました。5つに分かれた展示室では、ビザ発給関連資料や解説パネル、杉原に命を救われたユダヤ人の証言映像等の上映が行われています。



カウナス杉原千畝記念館館長
Simonas さん

バルト3国それぞれに特徴ある首都の街を観光

リトアニアの首都ヴィリニウス、ラトヴィアの首都リガ、エストニアの首都タリンとそれぞれに特色ある街をご案内いたします。

バルト3国とひとまとめに言いますが、3つの国はそれぞれ違った特徴を持っています。隣のポーランドと同様カトリックの影響が強く、かつてはバルト海から黒海に至る大帝國を築いたリトアニア。13世紀からハンザ同盟の港町として栄えたバルト3国最古の町リガを擁するラトヴィア。フィンランドと民族的にも言語的にも近く近年はIT先進国として脚光を浴びるエストニア。北国のさわやかな自然とそれぞれ独特の歴史と文化を持った人々が皆さんを待っています。

ヴィリニウス、リガ、タリンとも、その旧市街・歴史地区はユネスコ世界文化遺産に登録されており、いずれも必見の観光スポットです。

リガの聖ペテロ教会(塔は展望台になっている)



旅行企画・実施：JICE ジェーアイシー旅行センター株式会社

<大阪営業所> 大阪府中央区谷町2-7-4 谷町スリースリースビル7階 TEL:06-6944-2341 FAX:06-6944-2318

<東京本社> 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル7階 TEL:03-3355-7295 FAX:03-3355-7290



ご旅行日程



	日程	都市名	時間	交通機関	内 容	食
1	9月4日(水)	関西空港 関西発 ヘルシンキ着 ヘルシンキ発 ヴィリニウス着	08:45 10:45 14:40 16:20 17:35	AY78 AY1105	チェックインのお時間です。 関西空港よりフィンランド航空にてヘルシンキへ。 ヘルシンキにてEUへの「入国」手続き。 乗継ぎ便にてリトアニアの首都・ヴィリニウスへ移動。 空港でガイドの出迎え、専用車でホテルへ。 ホテルにチェックイン。 (ホテル泊)	機 機 機
2	9月5日(木)	ヴィリニウス		専用車(午後)	ホテルにて朝食。日本語ガイドと待ち合わせ。 ヴィリニウス旧市街をガイドと共に徒歩観光。 レストランで昼食。午後も観光を続けます。 ヴィリニウス郊外へ専用車にて移動。 トゥラカイ城の見学(入場)など。 市内に戻りレストランにて夕食。 (ホテル泊)	H R R
3	9月6日(金)	ヴィリニウス ヴィリニウス発 カウナス着 ヴィリニウス着	午前 午後 夕方	専用車	ホテルにて朝食。 専用車にてカウナスへ出発(1.5時間)。 カウナス着後、杉原千畝記念館見学(入場)およびカウナス旧市街の見学。 レストランにて昼食。 ヴィリニウス帰着後、ガイドと共に市内ショッピング。 レストランにて夕食。 (ホテル泊)	H R R
4	9月7日(土)	ヴィリニウス発 リガ着	午前 午後	専用車	朝食後、ホテルチェックアウト。 専用車でラトヴィアの首都・リガに移動(約4時間)。 途中、十字架の丘を見学(下車)後国境を通過。 レストランにて昼食。ルンダーレ宮殿(入場)の見学。 リガ到着後、ホテルチェックイン。 市内レストランにて夕食 (ホテル泊)	H R R
5	9月8日(日)	リガ	終日	専用車	ホテルにて朝食。 日本語ガイドと待ち合わせ、リガ旧市街をガイドと共に徒歩観光。 市内レストランで昼食。 新市街・ユージェントシュティール建築などを見学。 市内レストランにて夕食 (ホテル泊)	H R R
6	9月9日(月)	リガ発 タリン着	午前 午後	専用車	朝食後、専用車でエストニアの首都・タリンに移動(約4時間) タリン着後、レストランにて昼食。その後ホテルチェックイン。 タリン旧市街の見学～徒歩観光。 レストランにて夕食 (ホテル泊)	H R R
7	9月10日(火)	タリン ホテル発 タリン発 ヘルシンキ着	21:35 22:10	AY1032	ホテルにて朝食。 ホテルチェックアウトし、日本語ガイドと待ち合わせ。 タリン郊外の野外博物館(入場)などの見学。 レストランにて昼食後、市内に戻りショッピングなどにご案内いたします。 レストランにて夕食後、空港へ移動。 タリンからフィンランド航空にてヘルシンキへ移動。 ヘルシンキにてお乗り継ぎ (機中泊)	H R R
8	9月11日(水)	ヘルシンキ発 関西空港着	00:45 16:25	AY67	関西空港に向けご出発。 通関後、解散。お疲れ様でした。	機 機 X

* 食事: H=ホテル R=市内レストラン X=食事手配なし。機=機内食

* 時刻は、目安です。現地事情により、観光日程が前後する可能性があります。

* 日本とヘルシンキ、バルト三国との時差は通常7時間(日本の方が早い)。ただし夏季(4月~10月)はサマータイムで6時間の時差となります

* ホテルはヴィリニウス「ラディソン・ブル・リトアニア」・リガ「イスランド」・タリン「ヘスティア・ホテル・ヨーロッパ」を予定。

バルト三国／リトアニア、ラトヴィア、エストニア



リトアニア 【リトアニア共和国】 Lietuvos Respublika

人口：約 281 万人

面積：6 万 5 200 平方キロメートル（北海道の約 78%）

言語：公用語はリトアニア語。

民族構成：リトアニア人 86.7%、ポーランド人 5.6%、ロシア人 4.8%。他にベラルーシ人、ユダヤ人など。

宗教：キリスト教。リトアニア人のほとんどがローマカトリック。他にロシア正教など。

首都：ヴィリニウス（人口約 57 万人）／ヴィリニウスはバルト三国の首都のなかで唯一内陸に作られた町である。14 世紀にリトアニアを統一したゲディミナス大公がこの地に城を築き首都と定め、東西ヨーロッパの貿易中継地として街は発展していった。第二の都市カウナスはハンザ同盟の商業都市で、旧市街には古い建築物がたくさん残っている。第一次大戦から第二次大戦までの 22 年間ポーランドに占領されていたヴィリニウスに代わって、カウナスがリトアニアの首都となっていた。



ラトヴィア 【ラトヴィア共和国】 Latvijas Republika

人口：約 211 万人

面積：6 万 4589 平方キロメートル（北海道の約 77%）

言語：公用語はラトヴィア語。

民族構成：ラトヴィア人 61.8%、ロシア人 25.6%。他にウクライナ人、ベラルーシ人など。

宗教：キリスト教。北部・西部にはプロテスタント、東部にはカトリックが多い。他にロシア正教など。

首都：リガ（人口約 70 万人）／リガの歴史は、12 世紀末のドイツ騎士団の入植により始まった。13 世紀末にハンザ同盟に加入し、バルト海有数の港湾都市として繁栄した。街は、「リガ歴史地区」として世界遺産に登録されている旧市街とその東側に広がる新市街に分かれる。旧市街には、尖塔が美しいリガ大聖堂や聖ペテロ教会、ハンザ商人の商家などが建ち並んでいる。旧市街と新市街の境目に建つのはラトヴィアのシンボルでもある女神像（自由記念碑）、ここから続くブリーヴィーバス通りを中心に 19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけて建てられたユーゲントシュティール建築（いわゆるアールヌーボ建築）が多く見られる。



エストニア 【エストニア共和国】 Eesti Vabariik

人口：約 132 万人

面積：4 万 5227 平方キロメートル（北海道の約 54%）

言語：公用語はエストニア語。

民族構成：エストニア人 69.1%、ロシア人 24.8%。他にウクライナ人、ベラルーシ人、フィンランド人など。

宗教：キリスト教。エストニア人の多くがプロテスタント。他にロシア正教など。

首都：タリン（人口約 42 万人）／タリンは、バルト海のフィンランド湾に面する港町。11 世紀にデンマーク人が街の基礎を作ったが、その後ドイツ騎士団領となる。13 世紀にハンザ同盟に加わってから、ロシアとドイツ・ヨーロッパとの貿易中継地として繁栄した。14～15 世紀に建てられた旧市街の建築群は「タリン歴史地区」として世界文化遺産に登録されている。

杉原千畝と「命のビザ」

1940 年 7 月 18 日、早朝。約 200 人にもおよぶユダヤ人たちが「通過ビザ」を求め、カウナスの日本領事館に押し寄せた。ユダヤ人たちの群衆を前に、領事代理・杉原千畝は悩み苦しんだ。当時、日本はドイツと日独防共協定を締結しており、ユダヤ人にビザを発給すればナチス・ドイツを刺激する可能性がある。ユダヤ人たちを救うために杉原はビザ発給の許可を本国に求めたが、外務省からの返答はノーだった。

杉原は外務省からの訓令と領事館前に集まったユダヤ人難民を前に苦悩した。そしてついに本国の指示に反してビザを発給することを決断する。杉原は寝食を忘れてビザを書き続けた。ほどなくして万年筆は折れ、ペンにインクをつけて書かなければならなくなった。睡眠不足による疲労と全身の関節の痛みが杉原を襲った。

8 月 3 日、リトアニアはソ連に併合され、日本領事館は 8 月 25 日付で閉鎖されることが決まる。杉原は領事館閉鎖後もカウナス市内のホテル「メトロポリス」に移りビザを発給し続けた。そして 9 月 5 日、リトアニアを離れるその日になっても、カウナス駅のホームで杉原はビザを書き続けた。杉原がビザ発給を決断してから、リトアニアを離れるまでの約 1 ヶ月間で発給されたビザは、確認されているだけで 2 千枚以上、子供や家族を含めるとビザを受け取った人は 6 千人以上にのぼる。

通過ビザを受け取ったユダヤ人たちは、シベリア鉄道を経由し、ウラジオストクから船で福井県敦賀港に上陸した。

募集要項



タリン旧市庁舎

■旅行日程: 2019年9月4日(水)～9月11日(水) <8日間>

■旅行代金: 関西空港発着 318,000円

※上記の他に、関西空港諸税 4,040円、現地空港諸税 2,970円、燃油サーチャージ約 43,140円 (2019年3月15日現在)がかかります。

※空港税、燃油サーチャージ等は予告なく変更となる場合があります。

■利用予定航空会社: フィンランド航空エコノミークラス

■利用予定ホテル: 2名様1室利用

ヴィリニュス: ラディソン・ブル・リトアニアまたは同等クラス

リガ: Island hotel または同等クラス

タリン: ヘステアホテルヨーロッパまたは同等クラス

<各ツイン利用となります・1人部屋利用追加料金: 39,000円>

■食事: 朝6回・昼6回・夕6回 ■最少催行人員 15名様

◆旅行代金に含まれるもの

空港一ホテル・駅間の送迎・ホテル6泊(ツインルームを2名で利用)・日程表の観光時、入場料ならびに移動時のバス・日本語ガイド代金・日程表に記載の食事(朝6・昼6・夜6(飲み物及び機内食は除外)・空港・駅・ホテルでのポーター代金・航空券(関西-ヘルシンキ-ヴィリニュス/タリン-ヘルシンキ-関西)フィンランド航空エコノミークラス

◆その他必要な費用

- ・超過手荷物料金・現地でのポーター代などの手荷物運搬料金
- ・クリーニング代、電話代、チップその他追加飲料など、個人的性質の諸経費及びそれに伴う税・サービス料
- ・傷害・疾病にかかる医療費
- ・お客様が任意で加入される海外旅行傷害保険料
- ・渡航手続き関係諸費用(上記に明記しております)
- ・日本国内における自宅からの発着空港など集合・解散地点までの交通費および旅行開始日の前日・旅行終了日当日などの宿泊費
- ・日本国外の空港税・出国税およびこれに類する諸税(上記に明記しております)。
- ・ご希望者のみ参加されるオプション・ツアー費用

◆お取り消しの場合の取り消し料

旅行開始の前日から起算してさかのぼって31日目に当たる日以降: 旅行代金の20%

旅行開始日の前々日以降: 旅行代金の50%

旅行開始日後または無連絡不参加: 旅行代金の100%

<お申し込み手続きのご案内>

不明点は担当者までお気軽にご連絡ください



リガ「ブレイメンの音楽隊」

▼下記書類を FAX またはメール添付にて担当までご送付ください。

1. 旅行申込書

2. パスポートコピー(残存3か月以上要) 申込の前に必ずパスポート残存期間をご確認ください。

▼弊社より旅行条件書・海外旅行保険の案内ならびに今後のお手続きのご案内をご送付いたします。

※弊社のお勧めする海外旅行保険は任意ですが、海外旅行保険への加入がエストニア・ラトヴィアへの入国の要件となるため海外旅行保険には必ずご加入ください。

▼旅行条件書をご確認の上、旅行申込書到着後 1週間以内に以下口座までお申込金30,000円をご入金ください(振込手数料は各自でご負担下さい)。

三菱UFJ銀行 四谷(ヨツヤ)支店 普通 0802409

名義: ジェーアイシー旅行センター株式会社

▼お申し込み締め切り後、請求書ならびに旅行資料をご送付します。

▼最終日程表(確定書面)の送付

ご出発1週間前～10日前を予定しております。

▼ご出発

当日、空港にて係員がお待ちしています。パスポートなどお忘れ物ないようご注意ください。

